

「重要文化財木造丹生明神坐像ほか美術工芸品保存修理事業」概要

【文化財の概要】

指定区分	国指定 重要文化財(彫刻)
名称・員数	木造 ^{にう} 丹生明神坐像 1 軀、木造高野明神坐像 1 軀
年代	鎌倉時代(12 世紀頃)
指定年月日	平成 30 年 10 月 31 日
所有者	宗教法人 ^{たんじょう} 丹生神社

【事業目的】

重要文化財「木造丹生明神坐像」(1 軀)、重要文化財「木造高野明神坐像」(1 軀)は、経年による汚れや彩色の浮き上がりなどが生じており、早急な修理が必要な状況となっていました。

このため、本文化財を安定した状態で保存し、確実に後世へ伝えるとともに、公開に耐えうる状態にするため、国庫補助を受けて保存修理を実施しました。

【全体の事業期間】

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

【事業体制】

補助事業者:宗教法人丹生神社

修理施工者:公益財団法人美術院

【本年度総事業費及び補助金額、収入先明細など】

総事業費	4, 653, 520 円
(補助金額・収入先明細)	
国庫補助金	3, 722, 000 円(80%)
広島県補助金	310, 000 円
世羅町補助金	155, 000 円
補助事業者負担金	466, 520 円

【本年度保存修理の概要】

神像 2 軀の解体修理及び保存台の製作を実施しました。

各像共通

- 1) 塵・埃^{ちり ほこり}による汚れは筆・刷毛^{はけ}で払い除去し、土蜂の巣の泥は精製水で出来るだけ除去する。
- 2) 彩色の浮き上がりはアクリル樹脂で剥落止め^{はくらくく}を行う。
- 3) 緩む部材を一旦解体し、矧ぎ目の隙間に薄板を挟み組み直す。後補部材は除去し桧材で補足する。
- 4) 桧材^{ひのき}製の素地仕上げの保存台を製作し安定して保存する。

【修理前・修理後の状況】

木造丹生明神坐像 1軀、木造高野明神坐像 1軀

写真提供:(公財)美術院

木造丹生明神坐像 1軀 像高 62.1 cm
(修理前)



(修理中)



彩色剥落止め作



右腿部補足状況

(修理後)



木造高野明神坐像 1軀 像高 61.2 cm
(修理前)



(修理中)



彩色断片戻し作業



右腿部補足状況

(修理後)



制作:(宗)丹生神社



本事業は、文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2019